

生産記録(冬期湛水管理)

有機質肥料施用あり、畦補強等実施

有機質肥料施用あり、畦補強等の実施なし

有機質肥料施用なし、畦補強等実施

有機質肥料施用なし、畦補強等の実施なし

農業者団体の名称	●●地区環境保全会
農業者名 氏名又は法人名	のうりん とうろ 農林 太郎

ほ場番号	作物名(5割低減)	備考
15~20	水稻	コシヒカリ

生産記録番号
4

1 冬期湛水管理 ※ 取組ほ場の実績をまとめて記載することにより、2か月間の湛水期間が書面上で確認できない場合は、別紙(様式任意)を作成し、ほ場ごとに報告してください。

(1) 主な作業 (各措置について、実施した活動の月日を記載してください)		実施時期	畦補強等の漏水防止措置	実施時期	定期的な水位管理	実施時期
取水措置						
①地下水をくみあげ		RO.10.5~随時	①湛水開始前の畦塗り	RO.10.2	①定期的な ほ場巡回による水位の確認	10/5~12/10 (通約2回)
②排水路の水をくみ上げ			②畦畔シートの設置		②取水による水深の確保	10/5, 11/3, 11/13, 11/30
③水権利のある農業用水からの取水			③定期的な ほ場巡回による畦畔等の補修	随時	③その他(具体的記載すること)	
④その他(具体的に記載すること)			④漏水防止を目的とした 秋代かき	RO.10.5		
( )			⑤その他(具体的記載すること)			
			( )			

(2) 湛水期間		
湛水開始時期	実施時期	備考※
	RO.9.30	
排水開始時期	RO.12.2	湛水期間は、2か月間以上必要です。
湛水期間	64 日	

(3) 有機質肥料の施用(冬期湛水管理の直前又は湛水期間中)					
資材等の名称	使用時期	使用量(kg/10a)	購入金額(円/10a)	備考	
菜種かす	RO.10.10	40 kg/10a	2,600 円/10a	単価*1,300	円/袋 × 使用数量 2 袋/10a
堆肥鶏糞	RO.10.10	30 kg/10a	400 円/10a	単価*200	円/袋 × 使用数量 2 袋/10a
		kg/10a	円/10a		円/袋 × 使用数量
合計			3,000 円/10a		

○有機質肥料とは、「有機質資材を原料とした肥料(有機質資材以外が原料として含まれている肥料は含めない)」をいいます。  
 ○施肥基準を上回るような過剰な施用とならないよう注意してください(無理に施用しない)  
 ○施用した肥料の購入金額の合計が3000円/10a以上でない、「有機質肥料の購入・投入実態がない場合」に該当します。

2 栽培管理(5割低減の取組) (注)同一作物で複数ほ場において取組があり、栽培管理の内容が同じ場合

(1) 作業工程			備考
作業名	実施時期(月日)		
播種	RO.4.20	時期に幅がある場合は、○月○日~○月○日と記入してください。	育苗センター
定植	RO.5.10		
収穫(終了日)	RO.9.15		

(該当する場合、□にチェック及び下線に生産記録の番号を記載して、「栽培管理(5割低減の取組)」の記載を省略してください。)

同一で複数回の取組を申請している場合、その生産記録番号を記載することで、「2 栽培管理」の記載を省略できます。「1 冬期湛水管理」「3 農業者団体への提出・保管する書類」については、必ず記載してください。

【使用肥料等】(1)(3)の有機質肥料以外						
資材等の名称	化学肥料窒素成分の割合(%)	使用時期(月日)	使用量(kg/10a)	うち化学肥料窒素成分(kgN/10a)(A)	慣行の5割低減の水準(kgN/10a)(B)	備考
稲わら秋すき込み	0.00%	令和●●年9月25日	全量	0.000		
ホーネンス培土1号	1.86g/箱	4月20日	18箱	0.034	4kg/箱	育苗センター
べんとう肥	8.00%	5月10日	0.3	0.024		
ケイカル	0.00%	4月20日	120	0.000		
エコ・5-5専用元肥	4.80%	5月10日	30	1.440		
エコ・5-5専用巻肥	7.50%	7月15日	10	0.750		
味好2号	0.00%	7月25日	10	0.000		
				2.248	3.2	

対象作物の栽培に向けて使用した全ての資材について記載ください。化学窒素の成分量がわかるパンフレット(堆肥等の自給資材は申し立て書)等を提出ください(JAの取扱資材であれば、原則不要)

作物ごとに定められている回数を記載ください。

【使用農薬】				
農薬名(剤型等、商品名)	使用時期(月日)	化学合成農薬成分回数(C)	慣行の5割低減の水準(成分回数)(D)	備考
温湯種子消毒	3月15日	0		育苗センター
タフブロック	4月10日	0		育苗センター
ヨーバルトップ粒剤	4月20日	2		育苗センター
ソルネット1キロ粒剤	5月1日	1		
月光ジャンボ	5月14日	3		
バサグラン粒剤	6月28日	1		
スタークル液剤10	7月29日	1		共同防除
バリダシエアー	7月29日	0		作物ごとに定められている回数を記載ください。
合計		8	9	

化学合成農薬成分回数が「0」のものについては、「0」を記載してください。

登録内容に合致した使用時期であることがわかるように記載してください。(特に、初期除草剤や後期除草剤の移植後日数や収穫前日数の使用制限)

3 農業者団体への提出・保管する書類 (注)農業者団体に提出(原本は農業者保管)する書類名の□に、■または●を記入

漏水防止の措置状況がわかる写真(本年度取組に向けて新たに措置を行った場合)

有機質肥料の購入伝票等

出荷・販売伝票(10アール未満の取組の場合)

※ 購入した有機質資材と無償の有機質資材を原料とした自給肥料の場合は、原料の種類・量・購入金額、製造場所、製造した肥料の量を記載した書類を保管すること。